

学校だより

とかりがね

東根市立長瀬小学校
令和5年12月1日発行

長瀬小学校創立150周年記念式典



(校長あいさつより 抜粋)

明治6年5月25日、もと長瀬寺(ちょうしょうじ)で、明治元年の神仏分離により寺から神道に移行したその御堂(おみどう)をかりて長瀬学校が誕生して以来150年。明治・大正・昭和・平成そして令和と幾多の変遷を経ながら、1世紀半にわたり地域にしっかりと根差した教育の営みが積み重ねられてきました。

明治5年に学制がしかれると、いち早く近代学校の発足を長瀬に見、北村山地区でも最も古い歴史を重ね、これまで長瀬でしかできない特色ある教育が実践されてきたのです。

特に、「想画」と「綴り方」に関しては、目の前の子ども達に「想画」教育で育みたかった力や「綴り方」教育を通じて成長させたかったことなど、当時とても先駆的で他の学校が模範にしたいと願った実践を新しい風に変え、県内は勿論全国に発信したことに思いを馳せる時、そのご苦勞が偲ばれると共に、大きな成果をあげてこられたことを我々さえも誇りに思えます。当時の実践資料もしっかり保存・継承され、その特色ある良き教育実践は、未来永劫継承していかなければならないものとして、地域・保護者・学校と三者の連携を密にし、その教育的価値の理解と継承に努めております。現在の子供達にもその精神は確実に継承され、今後の更なる発展が望まれるところです。

近年は、情報化社会の急激な進展により、これまで以上に全国一律の世の中に変貌しつつあり、方言やその地域の特色を生かす教育などが非常に希薄になりつつあります。改めてこれまでの着実に積み上げられてきた長瀬の教育実践を振り返ることで、現在になっても色あせる事がない教育を実感することの必要性を痛感しているところです。

150年という長い年月の中、学び舎を巣立った卒業生は数多くおりますが、誰もが長瀬小を卒業したという誇りと自信をもち、各界でその力を十二分に発揮されております。これからも歴史と伝統に裏打ちされたここ長瀬で、地域にどっしりと根差す教育を愚直に実践し、そして、広い視野を持ち地域に主体的に生きるグローバルとローカルな視野を兼ね備えた「グローバルな人材」を育成してまいりたいと、強く思いいるところであります。

最後に、150周年に巡り合わせていただいた光栄をしみじみと感じつつ、地域の皆様・同窓の皆様方から託された子ども達への愛情の付託を果たすべく、更に未来に向かって力強くはばたく長瀬小の教育に尽力して参ります。

東根市立長瀬小学校 校長 沼澤 徹

令和3年12月に記念事業の組織を立ち上げ、以来約2か年の間、常任委員会・実行委員会・各専門委員会と何回も会合を重ね、事業を進めてまいりました。

記念誌編集委員会では、150年の歴史が詳細にまとめられている記念誌の発刊、環境整備委員会はボルダリングの設置とグラウンドタイヤ遊具の更新、そして式典等委員会では、11月18日の盛大な記念式典の企画運営と、それぞれ詳細な打合せ等を行っていただき、思い出に残る記念事業となりました。式典のオープニングを飾った猪子踊り・七階節の関係者の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。子供たちも何十年後かに、よき思い出として生き生きと想起できるすばらしい150年記念事業になりました。

本事業に関わってくださった皆様方と、協賛金等で御芳志をいただいた地域の皆様方に、心より感謝の気持ちをお伝えいたします。ありがとうございました。

学校 NOW!

PART*

創立150周年記念式典盛大に挙行!



オープニング「猪子踊り・七階節」

第一部 記念式典



第2部 児童発表「歴史をたどり・未来へつなぐ」



第3部 山形県警察音楽隊による記念公演



ながとろの「ひと・もの・こと・とき」にふれる

長瀬大好きプロジェクト進行中!
We love Nagatoro!

おいしい納豆になあれ!!



きれいに咲いてね



みんなで収穫感謝祭!



3年生が春に植えた大豆の収穫を行いました。みんなで刈り取り、豆を取り、たくさん大豆に大喜び!これからこの大豆を使って、納豆づくりに挑戦します。長瀬納豆さんに見学に行ったり、納豆について調べたりして「長瀬の宝 たんけん隊!」の学習が進んでいきます。楽しみですね。

3・4年生が昇降口の前の花植栽活動を行いました。夏から秋にかけて、4年生が植えた日日草が、みんなを楽しませてくれましたね。今度は冬から春にかけて咲くパンジーとピオラが来校する人を歓迎してくれます。緑の少年団の先輩の4年生のリードで3年生と4年生が協力して植えました。寒さに負けずにきれいな花をさかせてほしいですね。

5年生が収穫感謝祭を行いました。初めに、1年間の学習の成果の発表です。米つくりの1年間や道具や機械の変化、米つくりと他の作物との仕事の違いなど、グループに分かれて発表しました。その後は、脱穀体験、餅つき体験をおうちの人と一緒にしました。そして、お餅とも煮をおいしく食べました。1年間の米つくりを通して大きな学びを実感した5年生です。

* 想画特集 * 残そう! 昭和の記憶! 守り伝えよう! 長瀬の宝!

画文集『昭和の記憶』を中心に、想画の記憶をたどります。6年生が心に留めた作品の感想をお届けします。

* 想画まめ知識 *

◇温かい想画(3)

～童心の輝きを表現できる喜びを知る～

<高学年・高等科>

①なお一層興味深き事柄について自分の生活を綴らせたり、語らせたりしながら絵の表現に深みを求めていく。②上学年だと言って難しい取り扱いをしないで、最も個人個人に適した指導をすることを忘れないようにする。③この期においても児童画の生命である童心の輝きを忘れてはならない。④生活を見つめ写生をつねに心がけること。⑤郷土に誇りを持ち、郷土色豊かな表現を求め続ける。

長瀬尋常高等小学校の教職員が一丸となって一つの目標に向かって指導してきたことが、残された想画のすばらしさと実感しています。

題名「雪合戦」

みんなでなかよく雪合戦をして遊んでいて楽しそうな想画です。表情も楽しそうで、けんかななどをしないなかよしの雪合戦だと思います。

服装や家、一人一人の表情がリアルでびっくりしました。ぼくもなかよく冬の遊びをしたいです。 6年 斎藤駿哉



題名「雪だるま」

雪だるまの顔が細かく影も描いていて本当にいるかのような絵ですごくと思います。雪だるまをもう一つ作ろうとしている人も細かく描いてすごいです。後ろの家の柵なども、1本1本描いていて素晴らしいです。みんなで楽しく遊んでいる冬の風景が伝わります。

6年 寒河江琉伯斗

